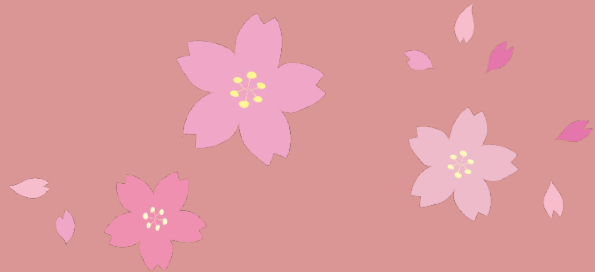


# PACK ON

2017-2018 No.24



## 岡山細胞検査士会会報

## CONTENTS



待ちきれない真夏日

●前口上

リレー 他己紹介

●総合病院 岡山協立病院

待望の連載シリーズ、第3弾！

●山崎友奨のGTO

PCオタク K's Presents

●コンピュータ・ワンダーランド 2017年度版

好評連載・第3回

●モリっちの 深煎り読書録

帰ってきた大講釈シリーズ

●ガラスの仮面論・PART2

今年もみんなでがんばりました！

●子宮の日・2018

# 前口上

## 待ちきれない真夏日

**2** 018年、年明けしてからというもの、まあ寒い寒くないの。日本海側では大雪に見舞われ、豪雪、豪雪と連日の報道。岡山県県南では、さほど雪の被害はなかったように思われるが、とにかく寒さが身に染みた今年の冬である。暑さ、寒さの感覚は人それぞれで、何℃以上が暑く何度℃以下が寒いなんてことは一概に言えるものではない。ある人にとっては「ちょっと暑いなあ」と感じるエアコンの温度設定が、ある人にとっては「ちょっと冷え過ぎでしょ」と感じられるなんてことは、しばしば経験するところである。そして、暑さに強い、寒さに強いということとその人の生まれ月には、どうやらそこはかとなく相関性が認められるような気がするのだがどうだろう。つまり、夏に生まれた人は暑さに強く、冬に生まれた人は寒さに強い、といった具合に。

**自** 分自身は7月の末ごろの生まれなので、生後すぐにどっぷりと夏の気候を経験している(はずである、よく覚えてないけど)。もちろん当時(昭和30年代)は自宅に冷房などなかったころだから、「外の世界ってえものはこういうところなんだな、これが普通なんだな」とその時の環境条件が私の体には強く刷り込まれたに違いない。おかげで、私は暑さに極めて強い。学生時代には部屋に冷房器具(うちわなども含む)の一つすら持ってなかったが、まったく平気であった。たまたま、大学時代の仲間で誕生日1日違いのやつが二人いて、彼らにも同様の傾向が見いだされた。ここには何か統計学的優位さを持って語られるべき内容が含まれている可能性がある( $n=3$  ではいささか心もとないデータではあるけど)。

**光** あるところに影がある。暑さに強いやつは寒さに弱い。これもまたありがちな傾向であろう。いうまでもなく私は寒さに弱い。めっちゃくちゃ弱い。できれば冬場はコタツを背負って歩きたい、と思う程度に弱い。冬場の仕事はエアコンの温風吹き出し口の下で行いたい(実際にそうしていたこともある!)。綿入れのドテラ型白衣、あるいはダウンの入ったコート型白衣などがあれば、ぜひ使ってみたい。

**来** るなら来い、温暖化。ああ、早く、じっとしても汗が流れ出すような夏にならないかなあ。(と言うたびに、冬生まれの娘に嫌がられる父なのであった)。

\*「暑いのは平気」という私のような人は、歳とってから熱中症にやられやすいタイプなので、自覚と注意が必要である。

(文・藤田 勝)



リレー

他

個

紹

介

総合病院岡山協立病院 病理部

Okayama Kyoritsu General Hospital



イラスト・西本菜美

# 渡邊律子さん



**RITSUKO WATANABE**

主任の渡邊律子さんを紹介します。渡邊さんは仕事に関してストイックで、なおかつ遊び心も大切にする人です。良いと思った提案は柔軟に取り入れてくれるので意見を言いやすい職場環境が整えられています。業務外では観劇サークルの活動に熱心で、僕も入職してすぐに誘っていただきました。また週末にはコンサートや旅行で日本中あちこち出掛けています。ハリネズミと犬が好きでハリネズミのグッズを手に入れると必ず見せてくれます。工作中、立ち止まって考え事をする時などに両腕を体の側面にパタパタと打ちつける仕草が見ていて癒されます。渡邊さんは物事をハッキリ言う人なので、入職して間もない僕は「厳しそうな人だなあ」と思って怯えていました。しかし、僕が細胞検査士の試験に失敗した時には叱責することも嫌味を言うことも一切なく、合格するまで温かくサポートしていただきました。いくら感謝してもしきれません。合格してからは毎日ビシバシ鍛えられています。細胞診のこと、組織診のこと、事務方や業者に負けない術などたくさんのことを学ばせてもらっています。

(by 金田 宗将)

## ご本人からのコメント



金田君、過分なるご紹介ありがとうございます。金田君を観劇の道に誘ったのは、一種のパワハラだし、試験に失敗したとき何も言わなかったのは、「こんなやつを採った私が悪かった」と諦めていたからです(笑)。全て、良い方にとってくれる金田君っていいやつ！「やっぱ採って良かったわ！」思えば、PACK ON 第1号の他己紹介は協立病院からでした。「♪あのことろき～み～は～若かった～♪」あの頃とは違い、今や私が最年長！あらゆる修羅場を潜り抜けてきた経験を職場運営に活かしつつ、年下の彼らに嫌われないよう、これからも、みんなの癒しになれるように頑張ります。

# 山崎友奨さん



**YUSUKKE YAMASAKI**

PACK ON のコラムでおなじみ、検査士会でもよく司会をやったりして、見れば「ああ、あの人」と分かる、山崎ゆうすけ君を紹介します。彼の愛車は青いインプレッサ WRX STi。あの顔であの車に乗っていたら、「ヤンキーか!」と思う人もいるかも知れませんが、意外に真面目! おまけに下戸! 先日はビール1杯で記憶を無くし、トイレで倒れていたところを発見されたとか…。そのため、ストレス解消はもっぱらカラオケ。なかなかの腕前と聞いております。

そんな山崎君、仕事は完璧主義。自分に厳しく、人にも厳しく。美しい標本を作るための努力は惜しみません。しかし、家に帰れば、6歳の娘を溺愛するパパでもあります。毎日愛妻弁当を持って出勤。しかし聞くところによると、奥さんの手料理に不満があるとか「自分が作ったほうが絶対美味しい! でも嫁が台所に立たせてくれない!」ここにも山崎君のストレスの種が…。

一見人当たりが良く、誰とでも話ができそうな山崎君、実は人前に出るのも知らない人と話をするのも苦手。きっと彼の心の中にはストレスのマグマが沸々と溜まり、爆発の時を待っているのでしょう。カラオケで大爆発する分には、人様に迷惑はかけないので、いいのですが…。もし、カラオケ店の前で青いインプレッサを見かけたら、「山崎君、疲れてるのね～」とやさしく声を掛けてやってください。いつもと違う山崎君が見れるかも。 (by 渡邊 律子)

## ご本人からのコメント



赤裸々な紹介を賜りましてありがとうございます。「山崎=人見知り」は協立病院内ではもはや定着した公式ですが、他の人からはどう見えているのでしょうか?これに高いプライドとキモオタブルーのインプレッサを足し算すると…陰キャ感が半端ないですね(笑)。おかげさまで最近になって嫁と料理協定(おうちごはんは山崎担当、弁当は嫁担当)を締結いたしまして、家に帰ったら娘と台所に立っては試行錯誤を繰り返す充実した毎日を過ごしております。こんな山崎に「もっと大人になりなさい」と優しく諭してくれる渡邊さんには、本当に頭が上がりません。「人にも厳しく」から「人には優しく」になれるよう、カラオケと料理で適度にストレスを発散しながら頑張ります。

# 西本菜美さん



**NAMI NISHIMOTO**

西本菜美さんを紹介します。

細胞検査士として山崎の10年先を走っているベテランのお姉さま。検鏡では主にセカンドを担当されておりますが、山崎が切り捨てようとしている細胞たちを優しくそっと拾い上げようとしてくれる慎重派です（救われたことが何度も…汗）。かなり集中力が高く、一度ゾーンに入ってしまうと話しかけても聞こえないほど。気が散りやすい山崎としては、見習わなければいけないなあと考える今日この頃です。

仕事を一旦離れてしまえば、少し天然で、独特な切り口のツッコミを交えたトークで場を和ませるムードメーカーに早変わり。最近では1児の母としてもすっかり定着し、こんなことがあった、あんなことがあった、と嬉しそうに子どもの話をしている姿には思わず笑みがこぼれます。ひとこと書いておきたいのは、溢れ出る旦那愛。話の随所随所に登場してくる旦那さま、今まで生きてきた中で他人の配偶者の情報をこれほどまでに得たことはないと思われます。しかも旦那さまを決して下げないところが非常にいじらしく、たまに山崎が胸やけをおこしていることは内緒（笑）。

…こんなことを書いていると、また口が悪いと怒られるかもしれませんね。お茶目な後輩だと思って許してください、頼りにしていますよー。  
(by 山崎 友奨)

## ご本人からのコメント



紹介ありがとうございます。なんかめっちゃめっちゃ良く書いてくれている!!!山崎君には周りが見えなくなっているときに、度々フォローしてもらっています。夫のことをそんなに話しているかなあ…。基本インドアで、お家だいすき人間なので家族のこと以外あまり話題が無いからかもしれません。最近の話題も子供のトイレトレーニングを始めたことと、夫とテレビゲームで遊んだことくらいしか…。うん、やっぱり話していますね(笑)今後は胸やけを起こされない程度にしておきます (^\_^;)

# 金田宗将さん



**TOKINOBU KANEDA**

私が紹介するのは金田宗将(かねだときのぶ)さんです。

一見すると、控えめでちょっとおとなしそうに見えますが、動物園や水族館が好きで、池田動物園の年間パスポートを持っていたり、食品サンプル(レストランの入り口などにある模型)が大好きで「東京で買いました!!」とリアルなチャーハンの形のスマホスタンドの写真を見せてくれたり、週末に食べに行った焼肉店(タンが好きらしい)の感想を聞かせてくれたりとかなりアクティブです。

その好奇心旺盛な姿勢は仕事でも存分に発揮され、疑問に思うことはすぐに調べて論文を探してきたり、新しい知見を取り入れようと積極的に勉強会に参加したりして職場に還元してくれます。最近では認定病理の資格を取るためにがんばっています。これからもいろいろなことにポジティブに挑戦して病理を盛り上げてほしいと思っています。

(by 西本 菜美)

## ご本人からのコメント



西本さんからいただいた文章を拝見し、動物園や食品サンプルはアクティブな人間の趣味なのか、別にインドアでネガティブな人間でもいいじゃないか云々あれこれ考えながら、入職したての頃を思い出しました。出会った当時は「漫画読むんだ、ふうん…」といった探り探りな会話に終始していました。僕も西本さんも「隠れ忍ぶべし」と考える世代のオタクだったのです。ああ、この他個紹介の文章は僕を明るく楽しい人間として紹介してやろうという西本さんなりの優しさなんだなと思直しました。

今回の似顔絵は全て西本さんの作です。以前描いたものを「現在の状態に近づきたいから」とわざわざ描き直してくれたのに、直後に髪を染めてしまい申し訳ありませんでした。

# 山崎友奨の

# GREAT TOURING in 2018 KAYAMA



## 岡山にもあった!? 遊園地編

みなさんこんにちは、最近 YouTube にはまっている山崎です。元々は娘が iPad でながめている程度でしたが、まさかここまで自分の興味をそそられる存在になるとは考えもしませんでした。思わず TV で YouTube が見られる環境を整えるほどの熱の入れようでございます (笑)。

YouTube に動画をアップロードしている人達のことを YouTuber と呼称するみたいですが、ちょっと調べてみると UUUM という YouTuber を囲っている会社まで存在するようです。人に夢を売る仕事というものの、僕らの職業とはまた違った良さを感じ

じます。そんな中で、個人的に最もお気に入りののが Fischer's という 20 代前半の 7 人組。思い出を残すために中学生卒業時から動画を撮り始め、保存先として YouTube を選択したとされる彼ら。大人になった今でも本気で遊んでいる動画を配信し続けていて、その姿は羨ましくもあり感慨深くもあり、自分はおっさんとしての道を着実に歩んできているなあとしみじみ感じます。

彼らに奮起させられるかの如く、今回の行き先は自然と頭の中に浮かんできたのでありました。

岡山で遊園地といえば、真っ先に名前が浮かんでくるのは児島の鷺羽山ハイランドでしょうか？ それとも玉野のおもちゃ王国 (旧：王子ファンシーランド) ?? じつは県北にも蒜山高原センタージョイフルパークという遊園地がひっそりとたたずんでいます。僕自身、幼少期に親に連れられて何度か訪れた記憶がおぼろげながら残っていて、娘 5 歳、そろそろ大人用のジェットコースターにブチ込んでみたい衝動に駆られたわけであります。さすがに鷺羽山ハイランドのジェットコースターはヴィジュアル的に断られる可能性があったため、古い記憶を辿り蒜山高原センタージョイフルパークの存在を思い出した次第です。

ある日曜日の朝、いつもと変わらぬ休日、朝ごはんを食べていた娘に言ってみました。

「遊園地に連れて行ってやる！」

不覚にも某サイヤ人風の台詞を口走ってしまった山崎ですが、「遊園地行く！！」と娘はノリノリでした。最初のサプライズはこうして



成功をおさめます、嫁の「なんで事前に言ってくれないのか…」という小言は華麗にスルー。事前に話をして、ジェットコースターにも乗ってみようかなんて嫁に言われた日には、娘に拒絶されていた可能性もありますしね。軽く身支度を済ませ、いざ出発です。

蒜山高原センタージョイフルパークへ通じる道は様々ですが、今回は高速道路を選択。いやぁ快適快適、あっという間に蒜山インター出口に到着です。道の駅やチョコレート工場などを尻目に、国道482号に合流。大山スカイラインを走りたい衝動に駆られながらも、今日は遊園地に行くんだと自分に言い聞かせて道を外れないように走っていきます。5分ほど道なりに進むと、広大な牧場が広がるなかに蒜山高原センタージョイフルパークが見えてきました。看板がなんとも言えない田舎っぽさと言いますか、ノスタルジックな雰囲気を醸し出しています（写真①）。



日曜日ということもあり全種類制覇は無理かなぁ…とか運転中に漠然と考えていたのですが、勢い余ってフリーパスを購入。よくある腕に巻くタイプのやつ、紙製ですが意外とちぎれないんだなこれが。これを巻くと、遊園地に来たーって感じがしますよね（写真②）。



すでに娘より興奮してしまっている山崎は、一番乗りでゲートを通過。しかしながら、通過した瞬間に衝撃の光景が目の前に現れます。

## 「人少なっっ！」

思わずでかい声が出てしまった山崎、先に入場を済ませていた別の家族が振り向いて怪訝そうな表情を浮かべていました。そりゃUSJなんかと比べたら失礼ですが、近所の公園か？ ってレベルの人口密度でございます（写真③）。



逆に娘はこの光景を見て、「乗り放題だー！！」とテンションがMAXになったようなので結果オーライとしましょう。んー、どのアトラクションも待ち時間ゼロ、なんなら僕らが到着するまで止まっているものまであります。特筆すべきは係員のやる気のなさ、そりゃUSJなんかと…以下略。娘がまず目を付けたのがカイトフライヤー、うつ伏せになって乗るタイプの乗り物ですね。嫁のカメラフォルダになんかシュールな写真が一枚あったので載せておきます（写真④）。



IPPON グランプリの「写真で一言」に出てきそうな写真、みなさま存分にボケてみてください（笑）。

ゴーカート、スカイサイクル、バイキングなど一般的な遊園地にはあるであろう乗り物をテンポ良くこなしつつ、次に目に留まったのがロックンロールというアトラクション。大きなツナ缶を縦にして乗り込み、ベルトでくくりつけられた挙句そのまま転がされるって感じの悪魔のような乗り物（写真⑤）。



山崎は娘&嫁と対面になる形で乗り込みましたが、これが事件の幕開けになるとは誰も予想だにしていなかったのです。すっかり忘れていたのですが、このアトラクションは縦回転ゆえに落し物が非常に多い。ぐいんぐいんと回転するロックンロールこと大きなツナ缶、嫁は死んだ魚のような目で回転に耐えておりました。隣ではしゃぐ娘、うわーなんて楽しそうに声をあげています。次の瞬間、口から大量のよだれを放つ娘、べとべとになる山崎の顔面。ぐふう、狭い空間で縦回転…こんな落し物があるなんて（泣）。山崎の涙なのか娘のよだれなのか、よく分からないものを袖で拭いながらアトラクションを降りる羽目になってしまいました。あれっ、よく見ると嫁の様子がおかしい。

### 「ちょっとお花を摘みに行ってきます…」

リバースですね、分かります。むしろ顔面に浴びたのがよだれで良かったのかもしれません。顔面にリバース、考えただけでも恐ろしい…。待つこと数分、すっきりした表情で嫁が戻ってきました。ちょっと休憩がてら、ソフトクリームを堪能。さすがジャージー牛、いい仕事してますねえ。CREMIA という生クリーム 25%のプレミア感満載のソフトクリームもありましたが、こちらは濃すぎて食べられなさそうだったのでやめておきました（後に発覚することですが、岡山イオンのイオンシネマでも同じものが販売されていました、逆にラッキー）。

さて、いよいよ真打ジェットコースターのおでましです（写真⑥）。



「ジェットコースターは無理だよねえ？」

ニヤニヤしながら娘を煽る山崎。

「乗れるもん！！」

強がる娘。しめしめ、計画通り。悪い顔になりそうなのを必死でこらえながら、「じゃあ頑張って乗ってみようか？」なんて笑顔で優しく言葉をかけます。最初の関門、120cmの壁はなんなく通過。早速乗り込んで、バーをおろします。「いってらっしゃーい」という係員の声を背後に感じながら、ガタコンガタコンと少しずつジェットコースターの高度があがっていきます。隣をみると、娘は意外にも涼しい表情。ちえっ、全然びびっとらんな…しかしそんな山崎の不満はすぐに解消されるのでした。ジェットコースターが下りに差し掛かり、速度を上げた瞬間、

「ぎいやあああ、おりるうううう！！」

隣から耳を劈くような叫び声が聞こえてきました。ミッションコンプリート、映画に出てくる悪役も真っ青なあくどい顔を山崎は浮かべていたことでしょう。それでもジェットコースターは止まりません。下りごとに聞こえてくる娘の叫び声に満足しつつ、こうして今回の計画は無事成功を収めたのでした。ジェットコースターを降りて、最後にとってあった急流すべりに向かいながら娘に「どうだった？」と聞いてみたところ、「乗ってる時は怖かったけど、楽しかったよ」と前向きな返答をいただきました。成長したな娘よ。結局、急流すべりが一番面白かったらしく、5回も連続で付き合う羽目になりました（写真⑦）。



蒜山高原センタージョイフルパークで唯一待ち時間(10分)の発生しているアトラクションだったので気持ちは分からんでもないけど…ずぶ濡れになったのは言わずもがな。悪いことをした罰があったのでしょうか、そのままあえなく閉園時間をむかえたのでした。嫁は大丈夫だったのかって？ みなさまのご想像通り、ジェットコースターを降りた後、二度目のお花摘みに行ったままとどうとう帰ってきませんでしたとさ。めでたしめでたし(笑)。

蒜山高原センタージョイフルパークには、今回の文章には書ききれなかった魅力がまだまだたくさんあります。是非一度、実際に足を運んで余すことなく堪能して頂ければ幸いです。個人的なお勧めは「おとぎ話の道」(写真⑧)、ではまた。



#### <店舗情報>

蒜山高原センタージョイフルパーク

TEL : 086-766-3600

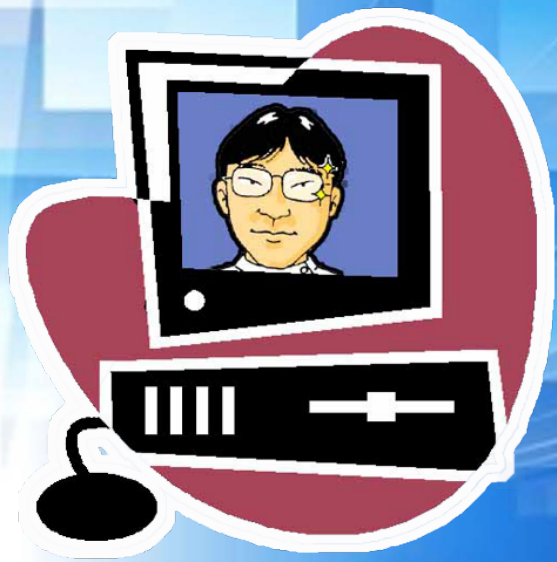
岡山県真庭市蒜山上福田 1205-197

営業時間 : シーズン期間 - 10:00~17:00 (日・祝10:00~17:30)

冬季期間 - 10:00~16:00

定休日 : ホームページ (<http://www.hkcenter.co.jp/>) の営業カレンダー参照

駐車場 : 700台程度 (いっぱいになることはまずないかな…)



# コンピュータ ワンダーランド

K's Presents 2017-2018

## ビバ! 3D!! の巻

北からのミサイルが気になる今日この頃ですが、いかがお過ごしでしょう。ひっそりとまだこの連載続いています。

さて今回は、数年前から予告だけでずっと引き延ばしてきた「3D プリンタ」について語りたいと思います。そうです、とうとう買いました! しかも何故か 2 台も! 安いものは 2 万円台の自分で組み立てるものから、高いものは一般向けでも 30 万円を超える箱型のもので色々あります。どれを買うかはもちろん自由ですが、財布の中身と思入れによって決まります。思入れは大きいのですが最初から高いのを買って失敗するのも悔しいし、格安のオール組み立てに挑戦するのも興味はありますが、そのほとんどは中国製で、ネットの評価を見ても部品の欠品やサイズが合わないなどのトラブル報告が多い上に、組み立てに時間がかかります。何か月かかけて苦労して作るのも魅力はありますが、すぐに使ってみたいという欲求に勝てずそれでも勉強になればそれも悪くないとは思っていたのですが.....

(あれこれ、しばらく悩んでいます).....

(でも、安くて性能が良いものを、すぐ使いたい!).....

ということでずいぶん悩んだのですが、結局、有名メーカー製の再生品を買いました。XYZ ジャパンのダヴィンチ 1.0 AiO (以下 AiO) という製品です。予想はしていましたがデカイ! 縦 50×横 45×奥行き 50cm くらいで、箱入りの重さは 30Kg 近くあります。部屋の片づけから始めたことは言うまでもありません。ところで購入前に色々調べたのですが、

3D プリンタは本体内のテーブルの上に、熱で溶かしたプラスチックを積み上げていきます。そのためテーブルの平行や、ノズルとの隙間の調整、ノズルとテーブルの温度、造形物をテーブルに固着させるためのノリや粘着テープなど面倒な設定がたくさんあります。買って使ってみると、さすがメーカー製、テーブルにノリを塗るだけで簡単にプリントしてくれます。通常のプリンタと同じように専用のインクならぬフィラメントのカセットを使いますが、これに使用温度や残量が記憶されていて最適な条件で印刷ができるからです。ところが、当然のように専用フィラメントカセットは割高です。インクジェットプリンタに互換インクがあるように、3D プリンタにもリールに巻いたフィラメントのみの製品や、素材についても一般的な ABS 樹脂の他に、PLA 樹脂や、wood 樹脂、フレキシブル樹脂に金属樹脂など材質の違うものや、様々な色のフィラメントもたくさん売られています。これを使いたいところですがフィラメントカセットのチップがそれを許してくれません。しかし！ここで諦めてはこの連載の意味がありません(?)。ネットで情報を集め、フィラメントチップのリセッターを Arduino というマイコン規格を利用し、電子回路とプログラムを自作し、残量や使用温度を書き換えることで市販の汎用フィラメントを使えるようにしました。調子に乗って様々な色のフィラメントを購入し印刷しまくったのは言うまでもありません。ネットにはデータもたくさん公開されていますので、卵型の植木鉢やコースターなどを作り、自分でも 3DCAD で設計した細胞診に使う検体ホルダーなどを作りました。と、ここまでは良かったのですが、材質の違う樹脂に手を出したのはちょっとまずかったようで、ノズルが詰まり印字できなくなりました。これも時間をかけてなんとか直したのですが……。一瞬正常動作したのですが機械本体の液晶パネルが点灯しなくなり、エラーのアラームが鳴りっぱなしになってしまいました。もはや自分で治すことができず、メーカーに相談しましたが、限りなく購入費に近い修理費に復活を断念しました。実稼働 4 か月程度、楽しませてはくれましたが、後に残る大きな筐体。それと 10Kg を超えるフィラメント……。

数か月考えた挙句、次のプリンタを買うことにしました。今度こそ組み立て式の安いものを想定して探しましたが、一から組み立てとなると相当の苦勞が伴い、欠品やサイズ間違い等あると手間がかかりすぎます。結局、半組み立て製品を買うことにしました。Reprap という規格の製品ですが、これは自作 PC のように市販の汎用パーツ（モータやレール、ネ

ジなど)を集めて組み立てるもので、各メーカーは全部のパーツをセットにして組み立てキットと称して販売しています。その中で、信頼のありそうなメーカーの半組み立てキットを購入しました。予想はしていましたが、組立ててみるとこれもやっぱりデカイ！今回はケースがなく骨組みだけなので圧迫感はありませんが縦50×横49×奥行き42cmの本体と別にコントローラユニットがありますので、他のものはもう机の上から消えてもらうしかありませんでした。気になる動作ですが、手のかかるテーブルの高さ合わせ、テーブルへのマスキングテープ貼付に、ノリの塗り付けなどしましたが、すぐに造形物がテーブルから外れ、失敗の連続でした。この大きな原因は室温の低さでした。冬で室温が下がるとカバーのないプリンタでは、テーブルやノズルの温度が下がり、プリント中に造形物が反り返り、ついにはノズルにぶつかってテーブルから弾き飛ばされてしまいます。プリンタとしてはそんなこととはつゆ知らず、延々とプリントし続け、朝、部屋に入るとプリンタのテーブルの上には何やら糸玉のような物体が乗っており、がっかりすること度々でした。印字に時間がかかるので寝ているうちに実行したいのですが、夜間にファンヒーターをつけっぱなしにするのは防災上もエコの点からも困難です。これには箱型カバーの自作で対応を試みました！養生用のプラスチックボードを切って貼り合わせ、約50cm四角の箱を作り被せています。これが案外優れモノで、失敗がぐっと減りました。ただし、存在感と圧迫感は初号機以上ですが・・・

2号機もノズルが詰まって動かなくなることもありますが、ドリルでノズルを清掃するとか、ノズルヘッドの交換とかで何とか動いています。何といてもパーツの互換性があるのでその部分だけ交換することで修理ができます。これからも当分楽しめそうです。老後の趣味にいいかも。

ところでもし、3Dプリンタの購入をお考えのあなたにアドバイスとしては、印字したい3Dデータが手に入るか、自分で設計できる環境と能力を用意できること。大きなものはどうせ作らないし、失敗すると被害が大きいのでなるべく小さなプリンタを選ぶこと。できれば組み立て済みの手間のかからないケース付きのものを選ぶこと。ノズルが詰まったときにノズル部の分解と清掃に何日もかかることの覚悟を持つこと。ご禁制(保証外)の特殊フィラメントに手を出さないこと。そして最後に粗大ごみの手続き方法を知っておくことでしょうか。

ではいつの日か、作品群を見てもらえる日が来ますように。



# モリっちの

# 深煎り読書録

# 3

Presented by MICHHIRO MORI



唐突ですが、私、動物が大好きなんです。小さい頃から動物図鑑とか好きで、よく動物園にも行ってました。動物園って1日いても飽きないし、動物園によって飼育されている動物の種類も違うので、上野動物園（日本で唯一の世界三大珍獣を飼育している！）とか横浜ズーラシア（オセロットがめっちゃめっちゃカワイイ！）とかいろんな動物園に行っては楽しんでました。思えば11年前に岡山に来たときにも、池田動物園にはすぐに行きましたね。ハイエナのえさやりを間近で見て、ものすごい勢いで肉の塊を食べている姿に興奮したのを覚えています。ちなみに私が一番好きな動物はアミメキリンです。

そんな動物好きな私が今回みなさんに紹介したいのは、動物に関する誰かに話したくなるようなおもしろい本です。それは、高橋書店より出版されている児童書、「**おもしろい！進化のふしぎ ざんねないきもの辞典**」です。この本はいわゆる動物図鑑のようなものではなく、いろいろな動物のちょっと残念でどこか憎めない弱点について紹介してあるのです。あまり内容について触れてしまうとネタバレしてしまうのですが、「コアラはユーカリに含まれる猛毒のせいで一日中寝ている」とか、「アライグマは食べ物を洗わない」とか、「サイの角はただのいぼ」とか、きちんと何でそういう進化をしたと考えられているのかを解説してくれます。どうですか？ おもしろそうじゃないですか？ 児童書となっていますが、大人でも十分に楽しめる本だと思っています。お子さんへのプレゼントや脳内リフレッシュにいかがでしょう。

今回はもう一冊。



日本のアニメ文化は世界に誇る文化にまで発展していることは周知だと思いますし、アニメには昔から医療系のものがたくさんありましたね。古くは「ブラックジャック」にはじまり、「Dr コトー」や「医龍」、「仁」などドラマ化されたものも少なくありません。もう一昨年になりますが、「フラジャイル」という病理医を主人公にしたマンガがドラマ化されて病理業界では話題になりましたね。我々としては森井君のようなスーパー臨床検査技師になりたいものですが・・・それはそうと、実は「フラジャイル」以外にも放射線技師が主人公の「ラジエーションハウス」など今までの医療マンガとは視点を変えたマンガがいくつかあるのは御存じでしょうか。そこで今回は赤血球（！？）の女の子が主人公である「**はたらく細胞**」（講談社）というマンガを紹介したいと思います。学生に講義をするときに、細胞が体内でどういう働きをしているのかをマンガだったらおもしろく理解してもらえるのかなあと実はずっと思っていました。だから私にとっては待望の1冊なのです！！

このマンガは人体を構成する細胞がまるでヒトのように描かれています。基本的には細胞が人体の中で行っている役割をコミカルに描いていますが、やはりそこはマンガなので少しくわくわくするような時もあるわけです。それが、ヒトが病気になったとき！！（喜んではいけないですけど）。中でも肺炎球菌が人体内に感染したときの話は秀逸。肺炎球菌のモンスター化はおぞましいくらいで、これに対抗する好中球の攻撃的な性格といったら思わず吹き出してしまいます。私のおすすめは血小板です（笑）。楽しみながら細胞の役割も理解できるホントにおもしろいマンガです。現在5巻まで発売されており、アニメ化も決定されました。ぜひ読んでみてください。



M. Fujita presents

BIG PRESENTATION

帰ってきた **大講釈**

# 超個人的マンガ論

# 2

『ガラスの仮面』(美内すずえ・作/白泉社) 大解剖【第2回】

さて、『ガラスの仮面』論【第2回】を始めたい。前回は、『ガラスの仮面』概論として、大まかなあらすじを説明し、主たる登場人物の紹介を行った。とはいうものの、あらすじと人物紹介のみでは、ほぼ『ガラスの仮面』の何たるかをお伝えすることは不可能だろう。どう考えても、それを読んでいただいただけでは、その昔ありがちだった少女漫画の類型の一つとしてイメージされて終わり、ということになるだけだ。そこで、今回からは外堀を埋めていこうと思う。その端緒として、『語る人々』をとりあげてみたい。

『ガラスの仮面』における極めて重要な登場人物として、『語る人々』は欠かせない存在である。と申し上げても、それがどんな人物であるか想像できないと思うので、実際の画像を参照しながら論を進めていこう。そもそも『語る人々』とは何者であろうか。それは例えば映画におけるエキストラ。つまり背景の一部として登場してくる名もなき登場人物たちである。『ガラスの仮面』における彼らの役割とは何か。それは、本作品の主人公である北島マヤが演じた演技に対して、それに驚愕し、感動し、その感情を言葉にして語ることにある。

マンガの表現法の基本は、もちろん描きたいことを絵として描くことである。だって、マンガなんだから。つまり、マンガの世界の中で繰り出されるすごい技はそのすごさを読み手にわかるように絵で表現する、それがマンガだろうと専門家筋も指摘しているところだ。もしもできないとしたら、マンガ作家としての表現力に劣る、そう解釈されても仕方ないのである（と、専門家筋は言う）。この論点から見ると、登場人物に言葉で「語るせる」ことで説明する手法は、ある意味、反則ワザととらえられるかもしれないのだが、『ガラスの仮面』ではそれが多用されているのだ。では『ガラスの仮面』はマンガとして劣っているのだろうか。否、である。『ガラスの仮面』ファンは、おそらく『語る人々』の登場を待ち望んでいる。どんどん語ってほしい、とさえ思っているだろう。ここに『ガラスの仮面』の懐の深さがある。

**大講釈**

BIG PRESENTATION

## 『語る人々』の実際

では、『語る人々』の実際を見ていくことにしよう。

図1は、劇団つきかげに入ったばかりの主人公が演じたレッスン課題を見て、劇団員の一人が発した言葉である。主人公は演技の天才なので、この手の「驚愕の心情」をつぶやくように吐露するシーンはたびたび登場する。『ガラスの仮面』ファンにはこれがたまらない。

図2は、若草物語で初めて本格的な舞台を踏んだ主人公の演技に対して、そのすごさを理解できずに馬鹿にしている劇団員ならびにそのすごさを理解しているもう一人の主人公ともいうべき姫川亜弓の語りである。この図式もしばしば登場するシチュエーションだ。

図3は、演劇コンクールの課題である『たけくらべ』の主人公を演じた北島マヤに対して語られる審査員の言葉である。『ガラスの仮面』は、主人公が演劇界の階段を上っていくストーリー、しばしばオーディションやコンクールの審査シーンが登場する。審査員の語りは重要だ。

図4は、全国演劇コンクールの一場面。ここでも審査員が語る、語る。いいぞ、審査員。もっと語ってくれ。

図5は、エキストラとして出演した映画『白い青春譜』で、あまりにも目立つ演技を繰り出す主人公のすごさを語る映画監督の言葉。喜んでいいのか困っているのかわからないこの表情がファンにはたまらない。



図1:語る劇団メンバー(2巻66ページ)

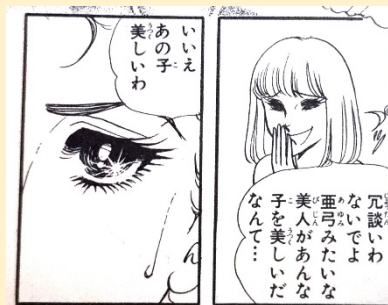


図2:「若草物語」の演技について語る劇団メンバーとそれをたしなめる姫川亜弓(3巻25ページ)



図3:演劇コンクールの課題「たけくらべ」の演技に対して語る審査員の人々(4巻92ページ)



図4:全日本演劇コンクールで「ジーナと5つの青いつば」を一人で演じた主人公について語る審査員(5巻51ページ)



図5:映画「白い青春譜」での演技について語る映画監督(6巻37ページ)

図6は、高校の演劇部で上演された演劇に出演した主人公のオーラに恐れおののく劇団員の語り。主役の劇団員が病気になるって、急遽代役に立った主人公がまるで別人のオーラを醸し出すシーンは『ガラスの仮面』の醍醐味である。

図7は、プロの劇団公演に出演することになった北島マヤの演技力のすごさに舌を巻く共演者の人々の語り。ある意味での下克上が突如として現れる、この快感。

図8は、商業演劇に主役級で出演することになった主人公が、苦心の末に役をつかみ、開園直前に楽屋に現れた時のスタッフの反応。まるで別人の雰囲気を感じた姿に驚愕する様が気持ちいいのだ。

図9は、『奇跡の人』でヘレンを演じる北島マヤの演技に対して、芸術祭演劇部門の審査員がおもわずつぶやいたワンシーン。視力を失っているヘレンの周りに広がる闇、それを北島マヤの演技は観衆に感じさせているというわけだ。いいぞ、どんどん語ってくれ、審査員の先生。

図10は、大河ドラマの主役を射止めた北島マヤが、周囲からのやかみ、いやがらせにさらされながらも、妨害工作をもものもせず演じ切る姿にスタッフが感嘆する場面。このあたり、北島マヤが演技するたびに、次から次へと、共演者、スタッフ、さらには妨害工作を行った対抗勢力の人々までもがこれでもかと言わんばかりに語りまくる。



図6: 高校演劇部公演「古城の愛」で急遽主役の女王役を演じるようになった主人公の変貌ぶりに驚く劇団員(6巻66ページ)



図7: 栄進新の公演「おんな河」で端役ながらバカに目立つ主人公に驚く座員(6巻184ページ)



図8: 「嵐ヶ丘」で別人のような雰囲気を感じた主人公に驚く劇団スタッフ(7巻151ページ)



図9: 「奇跡の人」でヘレン・ケラーを演じる主人公の演技力の深さに感嘆する芸術祭審査員(12巻82ページ)



図10: 大河ドラマ「天の輝き」で主役に抜擢され、いやがらせを受けながらも、ものもせず輝きを増す演技力に驚愕するテレビ局製作スタッフ(14巻153ページ)

『語る人々』の実例を10例ほど取り上げてみた。これらは、ほんの一部であって『ガラスの仮面』全編を仔細に眺め、すべてを抜き出すとしたら、とてもページ数が足りないであろう（ていうか、こちらの根気がそこまでもたない）。もちろん、言葉で語られるシーンは、絵としても表現されているわけだが、それを補強するのが周囲の人物による「語り」であり、この「語り」を通じて読者は「そだねー」と共感していくのである。この手法は、『ガラスの仮面』における特異性としてとらえることができる。

実例をご覧いただくとわかるとおり、ここに描かれた人物の共通点は、顔に汗が光っていることである。この汗表現は、しばしばマンガに使われる、何かに驚いたり感嘆したり慌てたりと、微妙に精神的な動揺を生じていることを表す記号である。これって文章の中でも、(汗)とか書かれることのある、すでに世の中のコンセンサスの得られた表現であろう。汗表現、あるいは目の下や上の斜線による影表現など、精神的動きを記号化したさきがけの一つが『ガラスの仮面』であったのかもしれない。目の描画による『ガラスの仮面』独特の表現方法といえば、黒目が消えて目が白くなる場面は有名だが、これについてはまた稿をあらためて論じてみたいと思う。

『ガラスの仮面』は、現在49巻までで発刊停止状態が続いており、50巻発売が待たれているところである。早くしてくれないと読者もその存在を忘れそうなので（実際、私自身も、この原稿を書いているから意識の中に50巻のことがあるものの、それがなければ『ガラスの仮面』の存在をほぼ忘れて生活している）美内先生にはぜひ頑張ってください。『ガラスの仮面』の最終回を見るまでは死ねない、なかば冗談で唱えられてきた『ガラスの仮面』ファンの間での合言葉が、何だか現実味を帯びて響き始めた今日この頃である。

(つづく)

### 参考文献

- 1)『ガラスの仮面』1～49巻 花とゆめコミックス 白泉社
- 2)『まんが夜話 Vol.9』キネマ旬報社
- 3)『ガラスの仮面』究極研究 椿山麗香(『ガラスの仮面』国際保存委員会委員長) 晋遊舎

**登場人物の核心に迫る！  
次号、その本質を解き明かす！**

大講釈

BIG PRESENTATION

# 子宮の日 2018

今年も、4月8日に「子宮の日・LOVE49」の活動が終了しました。岡山細胞検査士会より、ご協力いただいた方々へ、厚く御礼申し上げます。

当日は、数日来的温暖さが嘘のように肌寒い気候となり、空こそ青空がのぞいていたものの風が強く、体感温度はかなり寒い状況の中での配布活動となりました。

岡山駅・岡山駅地下・倉敷駅にてパンフレットの配布を行い、1,100部余りを配ることができました。ありがとうございました。また、袋詰め(2,000部)を手伝って下さった方も、たいへんありがとうございました。

子宮頸がん検診の受診率を増やすためには、今後も活動を継続していくことが重要です。岡山細胞検査士会会員のみならず、幅広い方々のご協力を仰ぎながら、来年以降もこの活動を続けていきたいと思っております。今後とも皆様のお力添えを、また、学生諸君や同業他社の方々などに幅広いお声がけを賜りますよう、よろしくお願い致します。

岡山駅チーム



倉敷駅チーム

